

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年8月9日（水）

2 確認箇所

5・6号機敷地護岸ヤード（上流水槽、トリチウム分析用試料採取設備等）

3 確認項目

多核種除去設備等処理水希釈放出設備及び関連施設の状況

4 確認結果の概要

ALPS処理水は、海水で薄めてから放水立坑（上流水槽・下流水槽）にため、海底トンネルを通じて沖合1キロメートル先から海洋放出される計画となっている。設置工事が完了した上流水槽については、本年5月12日にろ過水（発電所内で使用している水）及び海水を張り、その後、東京電力の社内検査や原子力規制庁による使用前検査が実施された。

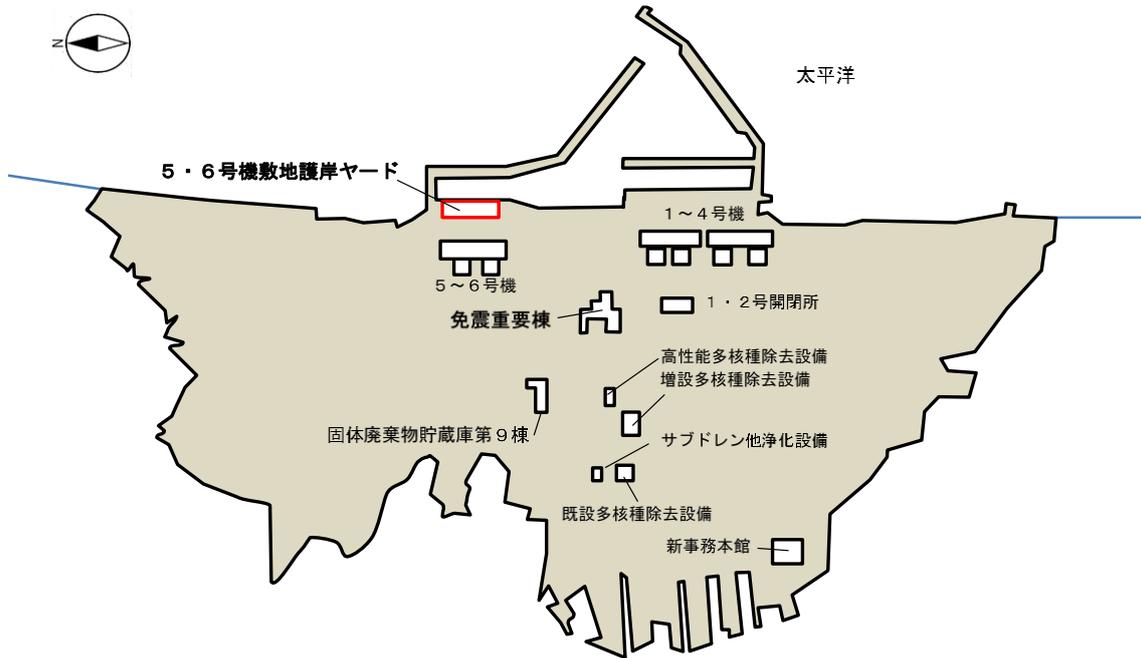
7月27日以降、検査等のため水を張っていた上流水槽から水を排水し、東京電力による点検が行われたことから上流水槽の内部の状況を確認した。また、上流水槽と海水配管ヘッダ下流から海水希釈後のALPS処理水をサンプリングするための配管と試料採取設備（サンプリングラック）の設置が完了したことから、それらの状況も併せて確認した。（図1、図2）

（1）上流水槽内部の状況

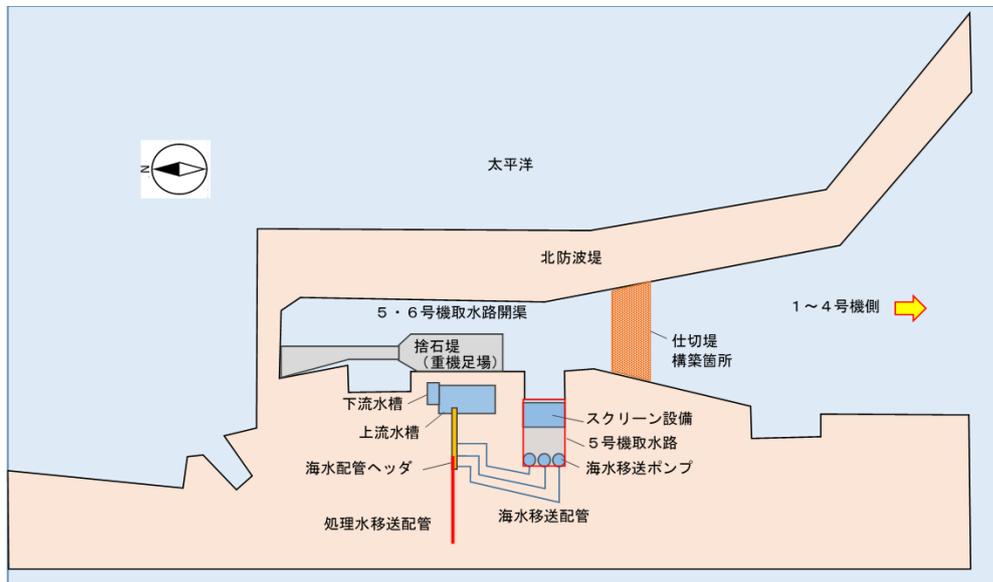
- ・上流水槽から水が排水され、水位が数cmになっていた。（満水時の水位は約5m）（写真1）
- ・底部には海水に含まれていた砂が僅かに堆積していた。また、壁面の一部に、付着物が確認された。（写真2）
- ・上流水槽から希釈後のALPS処理水をサンプリングラックで試料採取するためのポンプが設置されていた。（写真3）
- ・東京電力によると、内部点検（底部や側面の状況）を実施し、ひび割れや防水塗装の亀裂等、有意な欠陥は確認されなかったとのこと。また、今後、内部点検や漏えい検査を年1回の頻度で実施する計画とのこと。

（2）トリチウム分析用試料採取設備（サンプリングラック等）の状況

- ・上流水槽の北側に希釈後のALPS処理水を試料採取するためのサンプリングラックが設置されていた。（写真4）
- ・サンプリング箇所（海水配管ヘッダ下流、上流水槽）からサンプリングラックまで配管が敷設されていた。（写真5）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 5・6号機敷地護岸ヤード付近の概要図



(写真 1 - 1)
上流水槽内部の状況①
北側から南面を撮影



(写真 1 - 2)
上流水槽内部の状況②
南側から北面を撮影



(写真 2 - 1)
上流水槽底部の状況



(写真 2 - 2)
上流水槽側面の状況



(写真 3)
サンプリングラックで試料採取する
ためのポンプの設置状況



(写真4)
サンプリングラックの設置状況
制御盤は試料採取時に使用するポンプの制御のために設置。



(写真5-1)
サンプリング配管の敷設状況①



(写真5-2)
サンプリング配管の敷設状況②



(写真5-3)
サンプリング配管の敷設状況③

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。